

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 9月 15日

公表: 令和 5年 9月 30日

事業所名 : KIZUNA調布

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	・制度上は全く問題ないが、年々児童の年齢層が高くなってきており、体も大きくなってきているので、怪我や事故に繋がらないよう対応していく。
	2	職員の配置数は適切である	・制度上は問題ないが、児童指導員、保育士、理学療法士等といった職種も様々で、シフトを組んで運営しているので、1日の出勤人数等は可能な限り均等にしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	・入口の段差が気になるが、建物の共有部分により改修ができないため、保護者、お子さまに注意を促していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	・一部の職員のみが業務改善について考えていくのではなく、全職員で考えていく。 ・事務所のレイアウトが変り、職員が話しやすい環境になったので、皆で主体的に関わっていけるようにしてしていく。職員が変わると一部の職員の参加になりやすいので、そこは業務を分担したり、担当者を変えて対応していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	・今後も、事業所の判断で改善できるところは、できるだけ早めに改善を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	・毎年、ホームページで公開している。(工夫)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	・第三者評価を令和3年2月に実施し、できることから改善に繋げている。 ・令和5年8月より、第三者評価を実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	・研修で学んだことを事業所内で共有し、療育に活かせるように考えていく。 ・新入社員が入る度に、研修の順番・内容が適切であったか検証する機会を作り、次の研修に繋げていく。 ・調布市主催の研修には全員参加しているため、ミーティング等で情報共有を図っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	・心理士や作業療法士によるアセスメントは必要に応じ実施してきたが、常勤職員ではないため定期的に行えないため、今後は定期的に行える体制を他事業所とも連携し考えていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	・心理士による「MEPA-R」、作業療法士等による「JSIR」については、数件の導入となっているため、今後内容を見極め、対応を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	・専門的な運動はリードを取る先生が主なプログラムを作り皆で共有し検討している。 ・毎回フィードバック時にメニュー内容を立て直している。 ・リードの指導員が立案し、その後、他の職員に共有し意見があれば反映をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	・運動はクラスや季節ごとにプログラムを変え、特性やその日の子どもの様子、成長度合いに応じてフレキシブルに変えている。 ・毎回、児童に合わせて変えている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 9月 15日

公表:令和 5年 9月 30日

事業所名 : KIZUNA調布

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ平日、休日についてのプログラムの設定の違いはないが、土曜日、日曜日には課外活動を提供している。 ・夏季休暇時は特別プログラムも行っている。 ・夏休みはイベントという形で専門的なプログラムも入れている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の制度改正を見据えながらの対応となるが、集団で適宜、創作を入れたりするなど、より幅をもった支援を提供していく予定。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前には子どもの状況を振り返りシートを元に念入りな打ち合わせを毎回行っている。 ・事前ミーティングでメニューと目標、注意事項を確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後には1人1人の子どもの様子を振り返り、課題や次回に向けての対応を書面に残している。 ・職員全員が発言できるように話し合っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・記録をとり(サービス提供記録、一言情報)データとして残し、職員全体で検証している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の記録している振り返りシートとサービス記録に必ず目を通し、実際の様子をモニタリングして、課題の見直しにつなげている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画の見直しを行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援と日常生活の充実のための活動、余暇の提供に運動を組み合わせた療育活動を行っている。(創作活動、地域交流の機会の提供は頻度が少ないため、今後検討していく。)
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところサービス担当者会議の機会がないので、依頼があり次第検討していきたいと考えている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスがないこともあり、学校との情報共有は行っていないが、保護者から間接的に学校情報をもらうことにしている。 ・保護者と学校の間での課題について、当事業所も学校との連携を取り、子どもの過ごしやすい環境を整えていきたいと考えている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	(対象外)
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者より提供された資料は職員間で共有し、療育活動に活かしているが、事業所側から、保育所や幼稚園等に情報提供を求めることは殆どないので、今後、必要性について検討していく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、該当者が存在していないが、該当者が存在してくれば対応はしていく予定。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 9月 15日

公表:令和 5年 9月 30日

事業所名 : KIZUNA調布

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達支援センター主催の公開療育や連絡会に参加している。 ・連絡会に参加し情報を共有している。 ・調布市の子ども発達センターの巡回サービスも積極的に受けている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1回、地域交流の一環としてスポーツを楽しめるイベントを、外部と協力のうえ行っている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会との連携は行っている。 ・自立支援協議会の公開会議に参加していくことを考えている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や園での様子を短い時間ではあるがヒアリングし、毎日のミーティングで共有している。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は行っていないが、心理士や専門職(作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)による家族支援も検討していきたい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定については、保護者の閲覧ファイルにて周知できているが、直接説明は行っていないので必要に応じ説明をしていきたいと考えている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、ご相談があった際には丁寧に対応をしている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年に保護者会を実施し、保護者席に親の会のチラシを置き自由にとれるようにしている。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、ご相談や申入れがあった際には、職員間で共有し適切かつ迅速に対応をしている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<ul style="list-style-type: none"> ・会報は発行していないが、必要に応じ、HPやお手紙、LINE、ポスター貼付して発信している。
	35 個人情報に十分注意している	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。 ・サーバーを設置し、個人情報のデータはこの中で管理しているが、今後は個人情報管理規程などを制定し管理していく予定。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 9月 15日

公表:令和 5年 9月 30日

事業所名 : KIZUNA調布

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	・口頭のみでなく書面等でお伝えしたり、先方の事情を考慮し対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	・今のところ特別な行事は行っていないが、行う際には地域住民を招待するなど、地域交流を図っていきたいと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	・マニュアル類は揃っているが、状況に合ったマニュアルに変更されていない部分もあるため、実用可能なマニュアルに変えていきたいと考えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	・年に1回実施している。令和4年度は、全員が参加できるように6月12～18日の1週間に実施し、実施時は実施記録を作成し、内容や様子を残している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	・東京都の権利擁護、虐待防止研修や市の虐待研修に必ず参加し、社内研修で共有している。 ・令和4年より虐待防止が義務付けとなり、委員会を開催し事業者内で周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	・今年より、虐待防止委員会を法人で設置し、身体拘束についても議案の中で議論しているが、今後も随時行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	・現在は食物を提供することはなく、通所のお子さまで医師からの指示書もないが、あれば指示に基づき対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	・その都度記録し、全職員で共有して、今後の対応策を話し合い実践している。 ・ヒヤリハットがなかったか、毎回確認し、あったときは記録に残し対策を話している。